昭和十三年一月調製

湖州武康長興附近兵要地誌概說

第百十四師団参謀部

77

0439

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

序

本地誌概説ニ記述スル範囲ハ自昭和十二年十二月下旬至昭和十三年二月上旬間當師団ニテ担任セル警備地区内ノミトス

記述ハ参謀本部調製十万分之一地誌図ヲ原図トシ　各部隊ノ現實ニ確認セルトロコニ基キ既調査資料ヲ修正記入ス

調査ハ總テ各期（乾期）ヲ主体トセリ

0440

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

目次

(一) 地形
一、要旨
二、水濠地帶
三、山地帶
(二) 交通
一、道路
二、水路
(三) 氣象
(四) 宿營給養
一、要旨
二、住民地
三、宿營力
四、給養

0443

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

兵給水
燃料
(五) 航空
(六) 地図ノ精度
(七) 軍事施設

附圖第一 地形並ニ軍事施設図
附図第二 交通並住民航空図
附図第三 地図ト現地ノ相異ノ一例
附図第四 グリーク石橋(軍橋ニ木ヲ寫景図)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第百十四師団警備地区内要要地理

〔地　形〕

一、要旨

本地方ハ湖南ニ於ケル地形的変換地帯ナリ　即チ湖洲南北ヲ通スル線以東ハ「水濠地帯」ニ属シ　以西ハ「山嶽地帯」トス　故ニ水濠作戦ヨリ一般地形作戦ヘノ転移スル重要ナル変換線ナリト言フヲ得ヘシ

二、水濠地帯

土地平坦低濕ニシテ江南一般ノ水濠地帯　特性ヲ保有スルモ特ニ本地方ハ平地中ニ標高五十米乃至二百米程度ノ丘陵ノ散在シアリテ綱状ノ「クリーク」ト相俟テ戰術上重要ナリ　即チ砲兵観測所トシ好適タルノミナラス攻防両者ノ據点トシテノ利用價値大ニシテ且ツ方向判定ノ好資料タリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

1. 水濠一般ノ状況

コノ地方ハ土地平坦低濕ニシテ水濠著シク発達網状ヲナシ特ニ敵山東方地方ハ一～三百米毎ニ「クリーク」存在ス　水濠ニハ幹線タルヘキ大運河アリ　村落ヨリ村落ヘノ局地交通ヲ主トスル「クリーク」アリ　灌漑用ノ小流湖沼アリテ相錯綜ス　然シテ本地方ノ特性トシテ特ニ袋状水濠多キハ舟航ニアタリ周密ナル偵察ヲ必要トスル所以ナリ

水濠一般ノ状態左ノ如シ

イ、水濠ハ巾一〇～二〇米　水深二～三米ノモノ最モ多キモ運河以外ハ巾水深共ニ不規則ナリ

2. 水面ハ地表面ヨリ一～二米低ク土地低キ個所ハ一～二米ノ堤防ヲ築キアリ故ニ水上ヨリ陸上戰闘ニ協力スルハ不可能ナルモ舟艇ヨリノ上陸ハ至ル所容易ナリ又舟艇ニヨル機動ノ秘匿シ得

3. 流速ハ本地方ニアリテハ極メテ緩ニシテ通常太湖ノ方向ニ流レルモノ多ク満潮時ニハ逆流スル傾向アリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

4 灌漑用水濠ハ其ノ附近ニ揚水小屋及樹木アリ又運河ハ其ノ舟運ノ爲両岸ヨリスル曳舟ニ運行スル爲支流ノ分岐点ニハ鼓状ノ石橋アリテ其ニ其ノ発見容易ナリ

ロ、植物分布其ノ他

一般ニ水田及桑園多ク其ノ中ニ民家点在シ民家ノ周囲ニ樹林及竹林ヲ見ルコト(関東平地ニ類似ス(コノ樹林ハ高サ五～八米ニシテ砲兵観測所トシテ利用價値小ナリ)水田ハ江南大運河以西ハ冬期乾燥シ徒歩兵ノ通過ヲ許スモ之ヨリ以東ニ在リテハ濕田ニテ通過不能ナリ 桑園ハ高刈仕立ニシテ高サ一了二米太サ五～一〇糎モノ多ク障碍力大ナルノミナラス之カ繁茂時期ハ丈低キ一種ノ密林狀態ナリ

ハ、著シク展望射撃ヲ防碍ス

三、山地帯

0445

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

山地帯ハ湖州ヨリ廣徳道以北地区ト以南地区ニ区分ス
以北地区ハ山林丘陵性ニシテ疎林又ハ裸山ニシテ行動及展望射
撃ニ自由ニシテ戰術上利用價値大ナルモ以南地区ハ概ネ急峻ニシ
テ登降困難ノ個處所々ニ在リ倭樹繁茂シ山地脚一帯ニハ
竹林多ク一面ノ隠蔽地ヲ形成シ戰術上ノ障碍地帯ヲナシ用兵上
適当ナラサル所多シ水田ハ概ネ乾園シ冬期徒歩兵ノ通過ヲ
許スモノ多シ

交通

一、道路

一、自動車道 本地方ハ湖州ヲ中心トシ平望鎮杭州及宜興
ニ通スル自動車道ヲ分派ス道盤ハ堅固ニシテ重要個處
ハ石敷道トシ路巾約十米自動車ノ往復通過ニ支障ナシ
橋梁ハ一部坊楷橋脚ナルモ大部ハ木橋ニシテ堅固ナリ
（大部ハ焼却破壊セラレ板橋ヲ加設シアリ）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二、輜重車駄馬道

イ、水濠地帯ハ水路ノ発達著シキタメ在来道ハ頗ル不完全ニシテ多クハ單ニ村落ヨリ村落ヘ人及一輪車ノミ辛シテ通過シ得ル程度ナリ路巾不規ニシテ広キハ二米ノ部分モアルモ大部ハ一米狹キハ〇五米ニシテ一貫セル道巾ヲ又橋梁ナキ個處アル故ニ在来道ニ車輛及駄馬ヲ進メントセハ事前ノ偵察ト補修ノ準備ヲナスヲ要ス

ロ、山地帯ニアリテハ渓谷ヲ沿ヒテ通スル駄馬道アリテ散在スル村落ヲ連絡ス水田ハ乾固シ路外通過ヲナシ得

二、水路

イ、水路ハ江南大小路ヲ大貫線トシ之ニ連絡セル小運河アリテ鎮ヨリ鎮ヘノ舟路ニ利用セラル而シテ之ヨリ各部落畑地ニ通ズル灌漑用小水濠モ水路ニ面岸ハ概ネ急峻ニシテ平均二ー三米ノ断崖ヲナス所々ニ舟着場アリテ上陸ニ便ス底質ハ泥土ニシテ徒渉ハ一般ニ

0447

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

困難ナリ

橋梁ノ概要

水路ニハ諸所ニ橋梁アリ　石造及木造ニシテ中大ナル水路ノ橋梁ハ悉ク石造ニシテ張間ハ航行ニ支障ナカラシムル為約七米アリ稍小ナル水路ニアリテハ張間六米位支線水路ニアリテハ四米内外ナリ　石造橋ハ多クハ橋礎両岸ヨリ運河中ニ突出シ辛シテ地方舟ヲ通シ得ル程度トナシアルヲ以ツテ一河中広クトモ之ヲ通スル舟艇ニハ一定ノ限度アルヲ以テ利用ニアタリテハ予メ偵察スルヲ要ス　其ノ状態附図第四ノ如シ

當地方ノ交通ハ前述ノ如ク水路ニ依ルノ他ナク従ツテ水濠地帯作戦ノ為ニハ舟艇ニヨルコト少ナカラズ的ニ緊要ナリ　然シテ舟艇ハ各部落ニ於テ所要量ノ蒐集可能ナルモ開戦ニアタリ之ノ隠匿乗逃ノ憂アルヲ以テ之カ蒐集ノタメニ万善ノ策ヲ講スルヲ要ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

〔氣　象〕

氣溫ハ冬季ニ於テ比較的溫暖ニシテ濕度大ニシテ概ネ西北風ナルモ風速ヲナク一月中ニ於ケル氣象ノ狀態左ノ如シ

自昭和十三年一月一日
至昭和十三年一月三十五日　氣象表　於湖州

月日	曜日	天候	氣溫			風向風速			備考
			前六時	后二時	后十時	前六時	后二時	后十時	
一月一日	土	晴	〃	六	〃	無風	東微風	東微風	
一月二日	日	晴	(一)二	北	二	無	東微風	東微風	
一月三日	月	晴後曇	〃	一	〇	東北微風	北西微風	北西微風	
一月四日	火	晴	(一)一	一	(一)二	北西微風	北西微風	北西軟風	
一月五日	水	晴	(一)五	二	(一)二	北西微風	北西微風	北西微風	
一月六日	水	曇	(一)三	二	(一)二	北西微風	北西微風	北西微風	
一月七日	金	晴後曇	(一)五	〇	(一)二	北西微風	北西軟風	北西微風	

0449

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

| | | |

一月二三日	日	晴	(ハ)ニ	三	一	
一月二四日	月	晴	。	六	二	
一月二五日	火	曇	四	八		

（宿営、給養）

一、要旨

水濠地帯ハ人口稠密 物資豊富ナルヲ以テ 宿営力充分ニシテ給養モ亦現地物資ニヨリ概ネ之ヲ充足シ得ヘキモ 西南山嶽地帯ハ人口稀薄ニシテ 物資蒐集シ得ヘキモノナク又自動車道沿線約一粁ノ間ハ兵火ヲ蒙リ廃墟ト化セルモノ多ク 大部落ト雖モ宿

0451

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

営給養ヲ期得シ得ス

二、住民地

村落ハ一般ニ水路一側若ハ一側ニ集団スルヲ通常トシ其ノ西北方ヲ樹林又竹林ヲ以テ囲レアルモノ多ク家屋ハ全トシテ平家建物ニシテ二階建物混合シ煉瓦或ハ木造ニシテ屋蓋ハ多ク瓦ヲ用ヒ収容力相当大ナリ然シテ木造藁葺屋根ノ家屋ハ火災ヲ顧慮シ已ム得サル場合ノ外利用セサルヲ適當トス

三、宿営力

戦時住民ノ避難スルモノ多キヲ以テ空家ヲ利用シ得ルノ公算大ナリ然シテ民家ノ多クハ土間ニシテ水田地方ニアリテハ寝藁ノ蒐集容易ナルヲ以テ其ノ宿営力大ニシテ特ニ集団宿営ニ適ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、給養

本地ハ米作ヲ主トシ養蚕又盛ナラス（南方ニナルニ従ヒ養蚕盛ナリ）米ハ收獲期ニ於テハ相當豊富ニシテ代用馬糧ノ徴発ハ又容易ナリ馬騾馬等ハ全ク見當ラス牛水牛ノ類農作用トシテ稀ニ飼育セラル雞家鴨豚山羊羊等ノ家畜類比較的多ク土民ノ隠匿セサル内ニ蒐集セハ徴発容易ナリ

大根菜等ノ野菜類ハ大湖々畔地区ニハ相当多ク栽培セラルヽモ其ノ他ノ地方ニハ比較的尠シ西南方山嶽地帯ハ物資尠ク追送ノ要アリ

五、給水

住民ハ多ク河川ト水ヲ利用セラルヽヲ以テ井戸ニ乏シク湖洲帯ハ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ニ若干ノ井戸ヲ見受クルノミニシテ此ノ地方ニ作戦スルニハ多數ノ濾水機、沸水車ヲ裝備スルヲ要ス

六、燃料

水濠地帶ハ燃料ニ乏シク炊事採暖用ノ木材ニ乏シク山嶽地方ハ木炭ノ産出アリ

(航空)

當地方ハ水濠多ク且ツ南方山嶽地方ハ隠蔽錯雜シアルヲ以テ飛行場ノ適地ニ乏シク北方丘陵地方ノミ飛行場ノ適地アリ

飛設飛行場　長興飛行場

設置予定地　湖州南方(但シ雨期ノ状態ヲ見ザレバ断定シ得ズ)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

（地図ノ精度）

一、参謀本部発行ノ十万分ノ一地誌図ハ一般ニ精度良好ナラズ
特ニ昭和十二年十月調製(1)湖州府ト同年八月調製ノ(6)嘉
興縣及同(9)宣興縣ト各ニ其ノ方位ヲ異ニセリ

二、十万分ノ一 昭和十年十月(1)湖州府地誌図ハ地貌其ノ物ニ現地ト
相互スル点多シ 其ノ一例ヲ示セハ次ノ如シ

イ、夾浦鎮北方地区著シク現地ト相異シアリ（附図ヲ可トス）且ツ
左ノ如ク縮尺ノ相異アリ

実測距離
図上距離

ロ、湖洲ー長興道及長興ー下泗安道ハ附図ノ如ク訂正ヲ要ス

ハ、長興西北方山地帯ハ図ノ如ク急峻ナラズ丘陵性ナリ

0455

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三、昭和十二年八月調製、十万分ノ一地誌図ハ地貌ノ現出ヲ極メテ正確ナルモ、様式現地ト不一致ナリ一般ニ縦座標短縮シ横座標延長ス　其ノ一例附図中三ノ如シ

四、以上ノ如クナルヲ以テ地名ヲ略名若干ノ図根点ヲ設ケ之ニ依リ修正スルニアラズンバ地図ハ正確ハ期シ得ラレルヘシ

(一)軍事施設ノ概況

永久築城ニ類スルモノ本地区ニハ現受ケ本戦闘間コノ方面ニテ行動セシ支那軍第六九団第十二師ニ依リ軽易ナル野戦陣地構築セラレタルニ過キス其ノ状態附図中ノ如シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp